

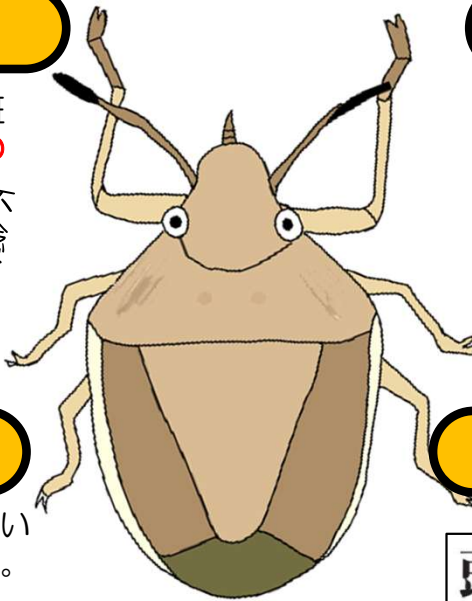
# 迫る！イネカメムシの恐怖

## 被害の種類が多様

従来の**品質低下型の被害**（斑点米）だけでなく、**収量型の被害**（不稔）を起こす。



不稔で穂が  
傾倒しない！



## 従来対策では不十分

田んぼへの侵入が**他のカメムシよりも早く**、防除時期が異なる。

○イネカメムシ  
出穂期から加害

○既存の斑点米カメムシ  
穂揃期10日後ごろに加害

## 選別が困難

加害部位が他のカメムシと違い**色彩選別機での選別が難しい**。



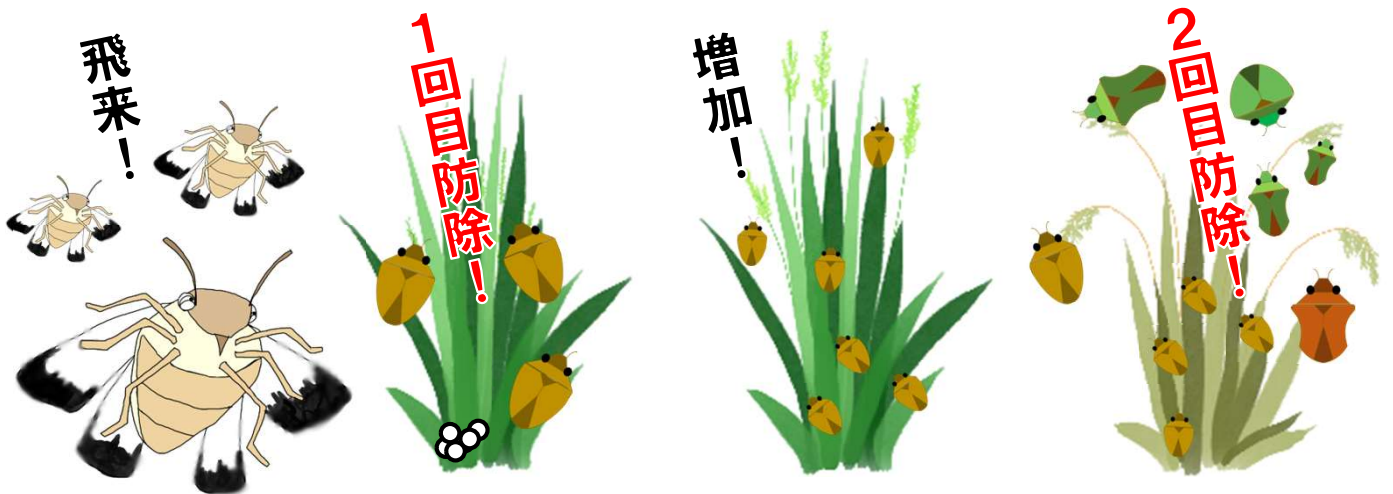
○他カメムシ ○イネカメムシ



実際の大きさ

## 全国的に被害急増！

### 頭垂れぬまま…秋



越冬場所や畔のイネ科雑草からイネカメムシが飛来し産卵する

出穂直前

イネカメムシが幼穂を加害し、不稔を発生させる

出穂期

イネカメムシの卵が孵化

穂揃期

他のカメムシも飛来し一斉に籾を加害し斑点米が発生

穂揃期10日後

イネカメムシの防除には、水稻栽培資料に記載の薬剤を使用しましょう。

# 防除剤一覧

散布時期	体系	薬剤名	処理量 倍率 (10a)	使用 可能時期	使用 回数	※成分数	対象 病害虫		
							ウンカ類	ニカメイチュウ	カメムシ類
（出穂期直後及び穂揃い期10日後頃散布） カメムシ・ウンカ防除	粉剤	アルバリン粉剤DL	3 kg	収穫 7日前まで	3回以内	①	○	○	○
		エクシード粉剤DL	3 kg	収穫 7日前まで	3回以内	①	○		○
	液剤	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍 (※3,000倍)	収穫 7日前まで	3回以内	①	○※		○
		エクシードフロアブル	2,000倍	収穫 7日前まで	3回以内	①	○		○
	粒剤	アルバリン粒剤	3 kg	収穫 7日前まで	3回以内	①	○	○	○
		スタークル豆つぶ	250g (※250~500g)	収穫 7日前まで	3回以内	①	○※		○
病害虫対策 航空防除	液剤	エクシードフロアブル	16倍	収穫 7日前まで	3回以内	①	○		○
		スタークル液剤10	8倍	収穫 7日前まで	3回以内	①	○		○

## よくある質問

Q1. 出穂期に防除をしたら、穂揃い期10日後の防除はしなくてもいいの？

薬剤にも残効があるから、出穂期の防除で穂揃い期10日後まで効果が持つんじゃないの？

Q2. どの剤型も散布時期は一緒でいいの？

薬剤にはいろんな剤型があるけれど、防除のタイミングはどの剤型も同じタイミングでいいの？

A1. 穂揃い期10日後の防除も行いましょう！

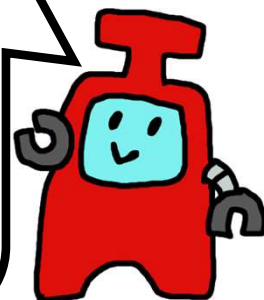
薬剤の残効は一般的に7日間、長いもので10日間くらいと言われています。  
(気象条件等にもよる)

出穂期から穂揃い期まで2~4日、さらにそこから10日後となると薬剤の残効も十分に発揮できないため、2回防除の徹底をお願いします。

A2. 粒剤体系の場合は早めに薬剤散布をお願いします！

粉剤・液剤については、指導通り出穂期・穂揃い期10日後のタイミングでの散布が効果的です。

しかし、粒剤については有効成分が根から吸収されてから効果を発揮するので、一般的に粉剤・液剤の防除時期の約5日前には散布する必要があります！



各関係機関連絡先（ご質問等はこちら）

遠賀営農一課  
TEL:093-282-5678  
若松営農  
TEL:093-741-2266  
八幡営農  
TEL:093-618-0130

西中営農  
TEL:093-451-9210  
北九州普及指導センター  
TEL:093-601-8855